

令和3年11月17日

鳥取県知事定例記者会見

燃油高騰対策

予算規模0.5億円

事業者支援

- 県ワンストップ相談窓口の開設
- 資金繰り支援の強化（最大無利子化）**緊急融資枠：4億円**（中小企業者等3億円、漁業者1億円）
- 県内トラック・バス事業者に対するエコタイヤの導入支援
- 農・漁業者が行う省エネ機械等の導入支援
- 一般公衆浴場の燃料費支援

生活者支援

- 低所得者世帯に対する灯油購入費等支援



鳥取県内のレギュラーガソリン(小売価格)の推移
(※1リットル当たり、消費税込み価格)

新「鳥取県版 新型コロナ警報」の暫定運用開始

- ・政府のステージからレベルへの基準変更を考慮
- ・ワクチンや抗体医薬の発症・重症化抑制効果や施設等の基本的な感染防止対策の浸透を反映
- ・今後レベル設定に向けて検討へ

旧指標

区分		注意報	警報	特別警報
指標	①新規陽性患者数	東部 1人/週、中部 1人/週、西部 1人/週	東部 3人/週、中部 2人/週、西部 3人/週	
	②現時点確保病床稼働率	—	圏域ごとに稼働率 15%超	圏域ごとに稼働率 50%超
	③入院率	—	圏域ごとに40%未満	圏域ごとに25%未満
運用	発令	圏域単位で発令		
	発令の目安	①の基準に達した日	①かつ②または③が基準に達した日	②または③が基準に達した日
	解除の目安	①の基準を下回った日の翌日	①②③がいずれも基準を下回った日の翌日	②の基準を下回るとともに、③の基準を上回った日の翌日



新指標(暫定版)

区分		注意報	警戒情報	警報	特別警報
指標	①新規陽性患者数	東部 10人/週 中部 5人/週 西部 10人/週	東部 20人/週 中部 10人/週 西部 20人/週	東部 55人/週 中部 25人/週 西部 55人/週	東部 70人/週 中部 30人/週 西部 70人/週
	②現時点確保病床稼働率	—	圏域ごとに稼働率 15%超	圏域ごとに稼働率 25%超	圏域ごとに稼働率 50%超
	③予測ツールによる3週間後の確保病床稼働率	圏域ごとに稼働率 15%超	圏域ごとに稼働率 25%超	圏域ごとに稼働率 50%超	—
運用	発令	圏域単位で発令			
	発令の目安	①②③のいずれかの基準に達した時			
	解除の目安	②を下回った日の翌日 (①が下方傾向にあることが前提)			

第6波に備え、ぜひ11月中のワクチン接種をご検討ください！

17日(水)
13時
予約受付開始

若者をはじめ多くの県民が行きやすい土日開催中の県営接種会場について、予約なし枠を2日間で200人に拡大し、1回目・2回目接種の追加受付を開始します。ぜひ3回目接種が始まる12月までのワクチン接種をご検討ください。

予約なし枠を2日間で200人に拡大！

モデルナ社製ワクチン

接種日

1回目接種日	2回目接種日	新規予約定員	予約なし枠
11月27日(土)	12月19日(日)	100名	100名
11月28日(日)		100名	100名
12月19日(日)	1月15日(土)	調整中※	
1月15日(土)	2月12日(土)		

※11月の接種実績に応じて、新規予約定員・予約なし枠を決定します

対象者 12歳以上の鳥取県民

優先枠

- ・ 妊娠中の方とその同居家族
- ・ 若年層(12~39歳)とその同居家族(親子連れなど)

アストラゼネカ社製ワクチン

接種日 ※全日程予約が必要です

1回目接種日	2回目接種日	新規予約定員
11月27日(土)	1月15日(土)	10名
11月28日(日)		10名
12月19日(日)	2月12日(土)	10名

対象者

18歳以上の鳥取県民で以下のいずれかに該当する方

- ① ポリエチレングリコール(PEG)アレルギーがある方
- ② アストラゼネカワクチンを既に1回接種している方
- ③ 接種を希望される40歳以上の方

優先枠

- ・ 上記①又は②の方
- ・ 妊娠中の方とその同居家族(40歳以上)



会場

新日本海新聞社5Fホール(鳥取市)

予約方法

鳥取県新型コロナ特設サイトで注意事項をご確認の上、ウェブ予約システムからお申し込みください。

新型コロナワクチンの追加接種が12月1日から始まります!

厚生科学審議会分科会での決定事項 (11/15)

<ワクチン接種の対象>

2回目接種を完了した、**18歳以上の方すべてが対象**。重症化リスクの高い方等は、特に接種を推奨

<ワクチン接種の間隔>

2回目接種完了後、**原則8カ月以上**。

ただし、地域の感染状況、クラスターの発生状況等によっては、**6カ月以上でも例外的に認められる場合有**。

<ワクチンの種類>

1回目、2回目の**使用ワクチンに関わらず、ファイザー又はモデルナを使用**。当面はファイザーを使用



追加接種に向けた本県対応方針

- ・ 2回目接種完了から8カ月経過を迎える方が3回目接種を希望された場合、円滑に接種できるよう関係者と調整
- ・ 地域の感染状況、クラスターの発生状況等により、6カ月の前倒しが必要な場合は速やかに国に協議し、認められ次第円滑に接種できるよう関係者と調整

⇒上記方針を実現するため、市町村、医師会等と接種体制構築に向け、知事、市町村長、県医師会長によって構成する「**新型コロナワクチン接種体制協議会**」を11月29日に開催

新型コロナウイルス感染症 第6波対策 ①

予算規模34億円

医療・療養体制の強化

25.9億円

➤ 宿泊療養施設の一部を軽症者等向けの「臨時の医療施設」として整備

(内容) 宿泊・在宅療養中の症状悪化者への点滴治療、中和抗体薬の投与等

(場所) 東・中・西部に各1か所開設予定

➤ タブレットを活用した小児在宅療養者の健康観察・診察体制の整備

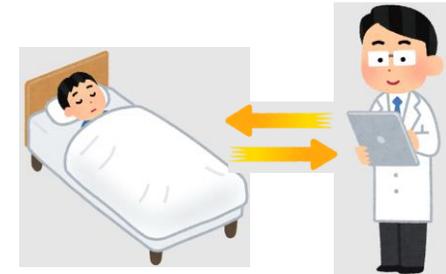
かかりつけ医がタブレットで在宅療養者の顔を見ながら診察等を行う。

➤ 最大確保病床数のさらなる増床

第6波の想定入院者数243人に対応できる病床数を確保済 ⇒ 更なる増床を医療機関と協議

※国：[今夏ピーク]約2.8万人→[想定入院者数]約3.7万人(約1.3倍)

鳥取県：[今夏ピーク]180人→[想定入院者数]243人(1.35倍) < [最大確保病床数]337床+a ※稼働率80%(270床)でも対応可能



検査体制強化・後遺症対応

1.9億円

➤ PCR検査の増強に伴い、今後も積極的かつ早期の検査を実施

衛生環境研究所の検査能力を増強済み (1日最大280件⇒370件)

かぜ症状があれば積極的な検査を実施

➤ 後遺症診療体制の強化と、小児向けの行政検査体制の強化

・後遺症診療に関する医療機関向けの研修の実施

・小児専用検査キットの配備と小児科医による検体採取の併用により迅速に検査を実施

第6波に向けた保健所業務応援体制の整備等

✓ 平時からの保健所応援体制整備

第5波で保健所業務を経験した中堅職員等約10名を保健所業務応援職員に任命し、平時より感染状況を注視するとともに、定期的に保健所業務に従事し、緊急時に即応できる体制を整備

✓ 本庁保健師の人員拡充

新型コロナ第6波や今後の災害クラス感染症発生時に備え、有事には直ちに保健所へバックアップに駆けつけられるよう本庁保健師の前倒し採用に着手（+2名）

✓ 応援派遣者への研修実施

応援派遣の市町村保健師やOB保健師がスムーズに保健所業務に対応できるよう研修を実施
(第1回R3.10.14開催(講師 鳥取大学医学部 景山教授)オンラインで約50名参加。年度内にあと3回開催予定)

※市町村保健師は、第5波中から県保健師によるOJTを行った上で、積極的疫学調査の一部を担っており、今後も取組を継続する。

毎日総勢50名の職員応援体制及びクラスター対策特命チームの支援体制の継続により、再び感染が急拡大した場合にも保健所応援の即時対応が可能な体制を継続中

新型コロナウイルス感染症 第6波対策 ②

家族・家計への支援

5.6億円

➤ 保護者が入院した際の**児童の預かり体制等の強化**（保育士等の確保）

家族がコロナ陽性で入院した場合に、保育士、助産師を新たに雇用して対応するなど、見守りが必要な子どもを預かる際の支援体制の強化を図る。

➤ **低所得者、離職者等に対する特例貸付の貸付原資の増額**

コロナの影響を受けた休業等による収入の減少等に対する緊急小口資金、総合支援資金（受付期間～11月末）の貸付原資を増額し、資金が必要な方への融資を実施。

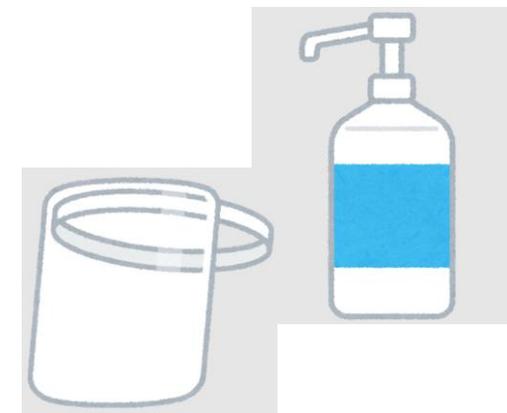


感染防止対策の充実

0.3億円

➤ **介護や障がい福祉サービス事業所等への衛生用品等への助成**

感染防止対策に必要な消毒液等の購入費用を助成する。



第6波に向けた飲食店の感染防止対策の強化

✓飲食店の認証取得をさらに推進

- ・飲食店の認証店数 2,181店（11/15現在）
- ・感染予防対策推進補助金により認証取得を支援

✓認証店の定期巡回点検（11/22～）

- ・認証取得後3ヶ月ごとに感染防止対策の状況を点検（民間事業者に委託）
- ・換気、マスク着用、ディスタンス、消毒、従業員等の体調管理、連絡先の把握等を重点的に点検
- ・不適切事項が確認された場合は、改善を指導し、改善結果の報告を求める

鳥インフルエンザ対策のための体制強化

◎全庁横断チームを立ち上げ(11月17日)

高病原性鳥インフルエンザウイルスを農場に侵入させないため、予防対策・サーベイランス強化！

鳥インフルエンザ対策チーム

【構成】 副知事(チーム長)、農林水産部、生活環境部 【事務局】 畜産振興局

◎県独自対策をスタート 400万円予備費執行→消石灰等緊急配布

県鳥インフルエンザマニュアルを改正し、消毒・点検による県内養鶏場への侵入防止対策と野鳥の監視体制強化を徹底！

県内養鶏場の消毒強化	消石灰等を随時配布し、ウイルスの侵入防止強化
県内養鶏場の点検強化	毎月全戸点検、検査、異常の報告の徹底
新たな野鳥サーベイランスレベルの設定	県独自のサーベイランスレベルを設定して鳥インフルエンザの県内侵入をチェック

環境省のサーベイランス

実施項目	サーベイランス内容
(1)死亡野鳥等調査 発生状況により対応をレベル設定	レベル1 通常時 監視、情報収集
	レベル2 国内発生時(単発時) 監視強化
	レベル3 国内複数箇所発生時 監視強化 検査対象拡大
(2)環境試料等調査 (養鶏密集地帯や野鳥複数感染地限定)	環境試料(水など)の検査

鳥取県のサーベイランス(監視強化)

実施する条件	サーベイランス内容	監視地点数
野鳥監視ステージ1 (流行期:11月~4月)	野鳥監視(週1日) 糞便、水検査(月1回)	最大 35地点
野鳥監視ステージ2 (国内で野鳥感染確認時)	野鳥監視の対象範囲拡大(週2日) 糞便、水検査(月2回)	最大 68地点
野鳥監視ステージ3 (県内野鳥・家ぎんの感染確認時)	野鳥監視(重点区域は毎日) 糞便・水検査(月2回)	最大 68地点 +重点区域

とっとり環境イニシアティブ県民会議の開催

様々な立場の方々との「共創」により、脱炭素社会の実現に取り組むため、本日開催。
本県の新たな温室効果ガス削減目標(案)や取組について議論。

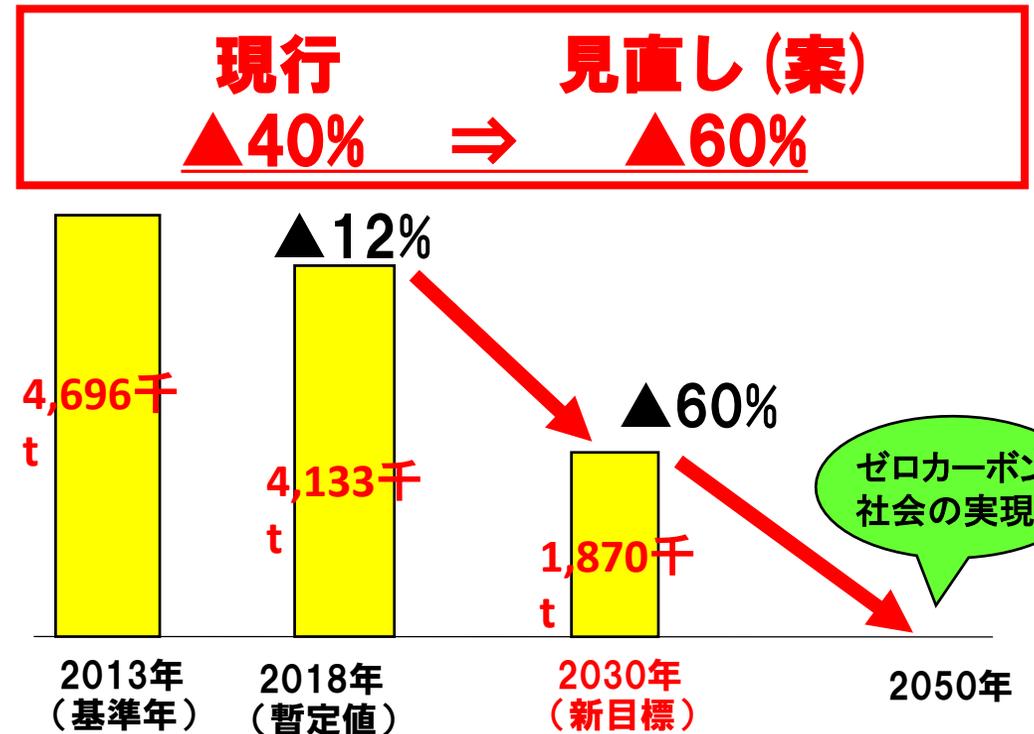
＜本県の2030年度温室効果ガス排出削減目標の見直し方針＞

- 世界や国の動きを踏まえ、本県においても更なる削減に向け取組を加速。
- 新たな削減目標達成に向けては、「暮らしの質の向上」「経済活動の維持・成長」「エネルギーの地域循環」「レジリエンス向上」等の視点を持って施策を検討。

各分野における重点取組の加速

- ＜家庭＞
 - ・ 新築及び既存戸建て住宅への太陽光発電設備の導入
 - ・ とっとり健康省エネ住宅の導入
- ＜企業＞
 - ・ オフィスビル、工場等への太陽光発電設備の導入
 - ・ 建築物の断熱化、省エネ化
- ＜運輸＞
 - ・ 電動車への乗り換え促進
- ＜行政＞
 - ・ 県有施設への太陽光発電導入、EV導入
 - ・ 脱炭素に向けた新たな産業・技術の創出
 - ・ 皆伐再造林、木材利用の促進
 - ・ DXを活用した生産性・効率性の向上支援

本県の削減目標(2013年度比)の見直し



学力向上に向けたプロジェクトの展開

未来を拓くとっとり学力向上プロジェクト

予算規模 19百万円 (R3~4)

➤ 「鳥取県・市町村学力向上推進会議」を設置し、学力向上の取組を市町村と実施

- 「とっとり学力・学習状況調査」の実施
- 学力向上教材の研究・開発
- 教員の指導力向上対策
- 教科別ワーキンググループでの施策の検討
- 地域人材・退職教員等による放課後集中補習の実施



国際バカロレア教育認定準備

予算規模 90百万円 (R3~4)

➤ グローバル社会で活躍する人材を育成する「国際バカロレア」教育を倉吉東高校に導入 (R5年度：1期生入学)

- 「国際バカロレア教育フォーラムin鳥取」の開催(R4.夏)
国内外の国際バカロレア校生と本県高校生によるプレゼンコンテスト、世界で活躍する卒業生による講演など
- 倉吉東高校の施設改修
バカロレア教育認定に必要なグループワークを行うための教室の増設、化学室の改修など

＜国際バカロレア教育の特長＞

- 国際バカロレア機構(本部:ジュネーブ)が提供する国際的な教育プログラム。
- 公立では、日本海側で本県が初の導入。
- 英語、数学、文学等の6科目中、2科目は英語での履修が必須。ディベート等による問題解決を図る学習方法が特徴。

鳥取県オンライン行政手続支援窓口の設置

本日開設

高齢者などデジタル活用に不慣れな県民等の相談窓口を開設します。

こんなお困り事に対応します。

事例 1 : 電子申請システムの利用方法が分からない。

事例 2 : 県に届出したいけど、どこからアクセスしたら良いか分からない。

事例 3 : スマホ教室に参加するにはどうすれば良いか分からない。

- ✓ 県庁情報政策課 4 名の職員が対応します。
- ✓ 電話、電子メールの他、窓口対応も行います。



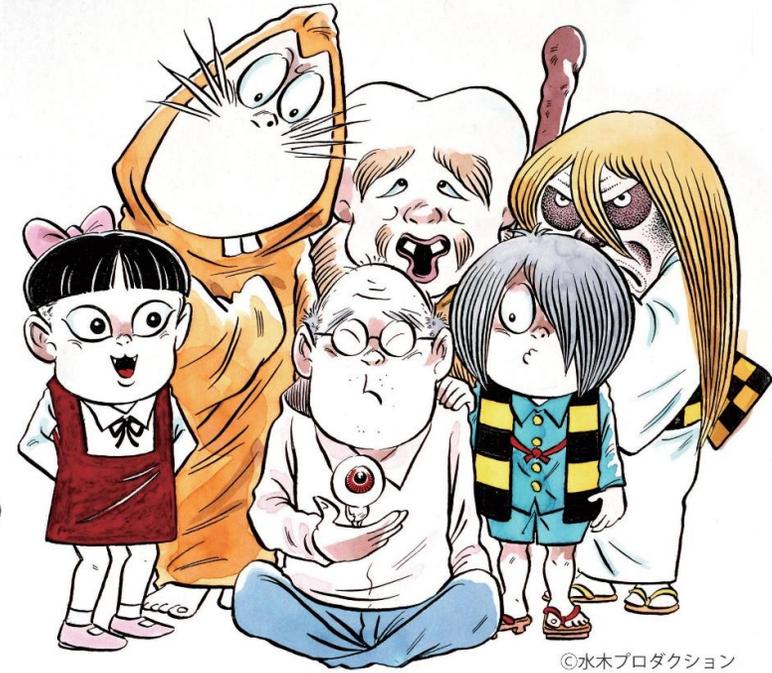
誰にも優しいデジタル社会実現を図るため、県は、携帯 3 キャリア（ドコモ、KDDI、ソフトバンク）とのパートナーシップ協定を締結します。

【協定の概要】

- 県の支援窓口、3 キャリアのスマホ教室を相互に P R
- 偏見や差別、誹謗中傷等から県民を守るための普及啓発の実施
- サイバー犯罪から県民を守るための普及啓発の実施

生誕100年 水木しげる生誕祭 開催決定

生誕 **100** 年
水木しげる
生誕祭



来年**3月6日**開催!